

2018年 6月1日作成  
2018年10月1日改訂

# 2017年度版

## エコアクション21 環境活動レポート

(レポート対象期間:2017年4月 ~ 2018年3月)



プライムデリカ株式会社

# 目次

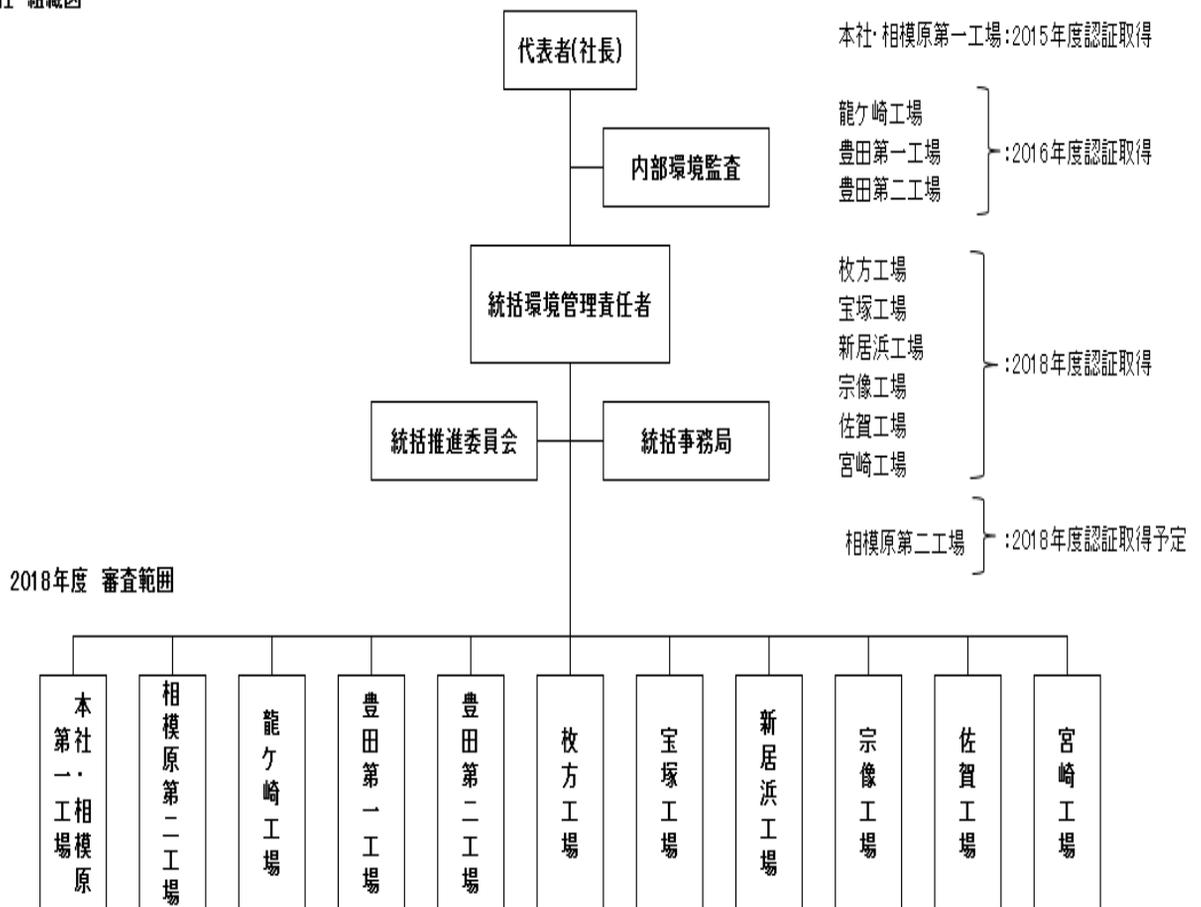
1. 会社概要	_____	2
2. 実施体制	_____	3
3. 環境方針	_____	6
4. 環境目標とその実績、次年度の取組	_____	7
(1) 全社	_____	8
(2) 各工場	_____	10
5. 環境活動計画の取組	_____	32
6. 環境法規遵守状況	_____	34
7. 代表者による全体評価と見直し結果	_____	36
8. 環境活動の取組事例	_____	36





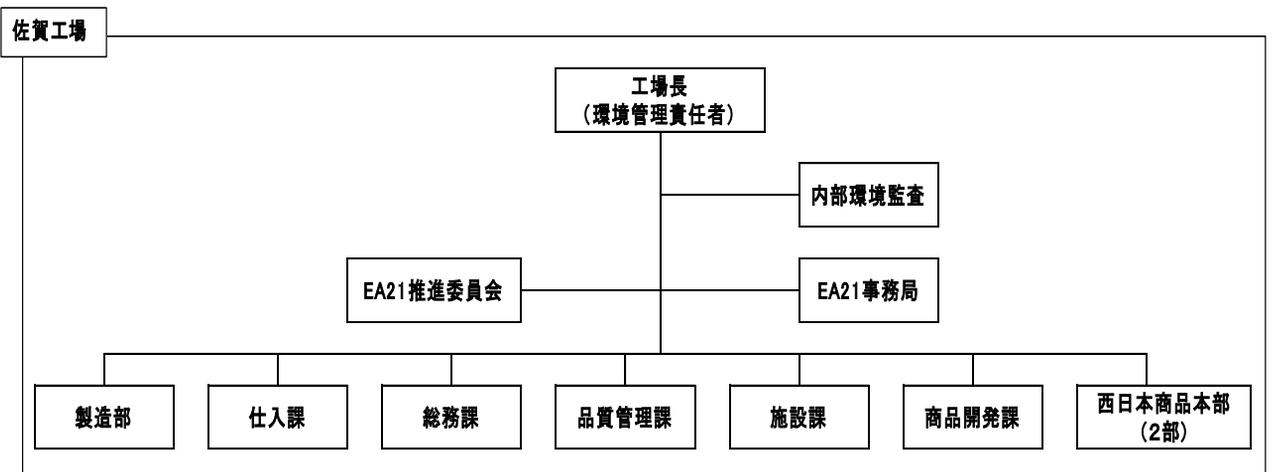
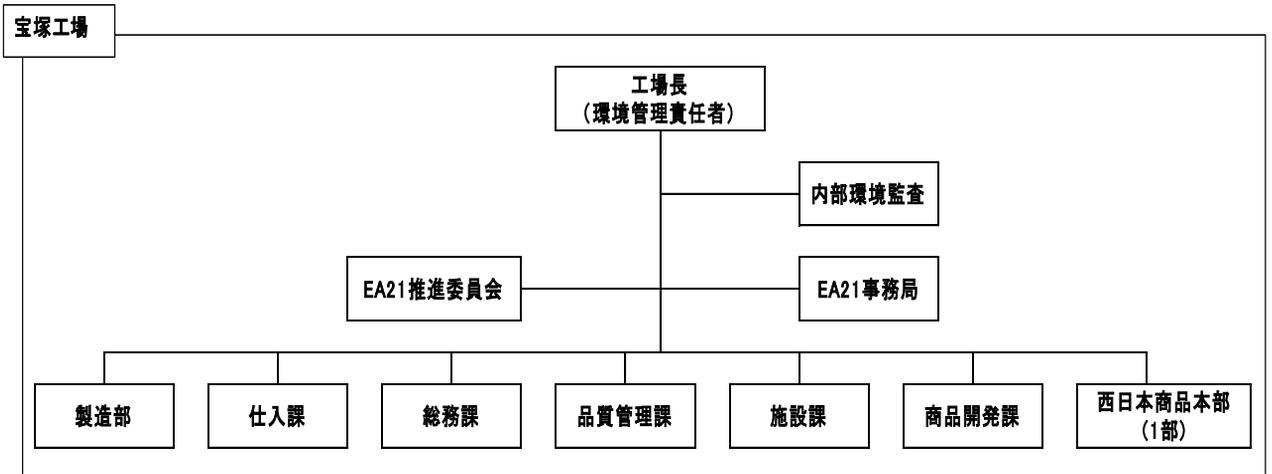
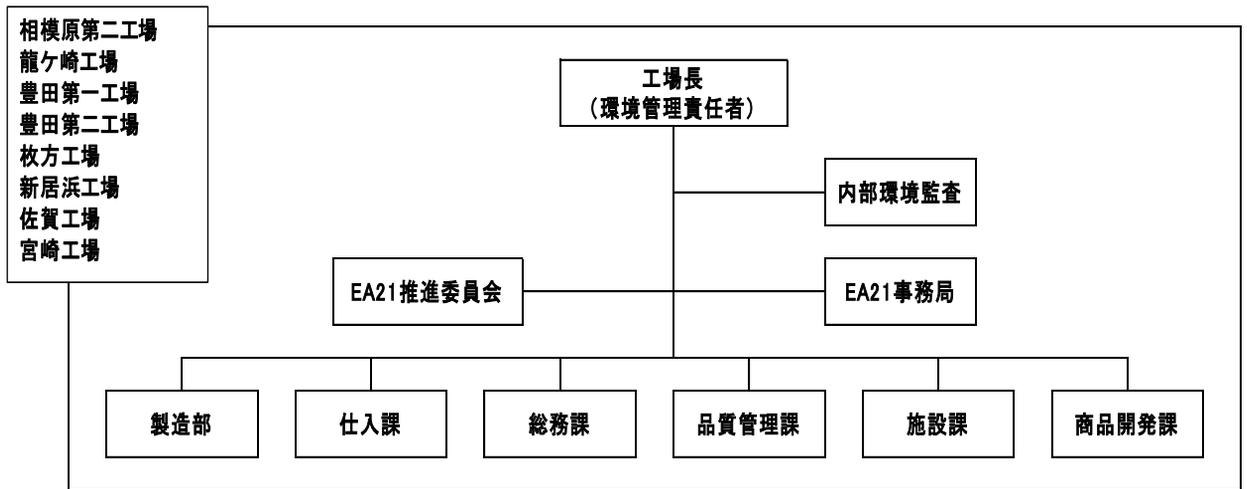
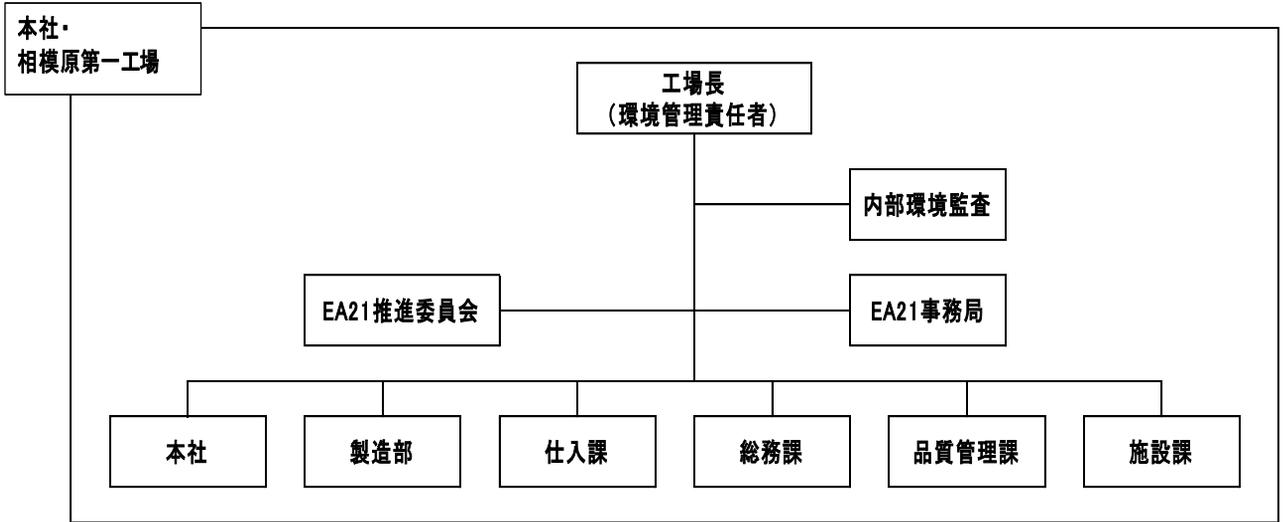
## 2. 実施体制

全社 組織図



### <プライムデリカネットワーク>





## ■役割と責任

### 役割責任

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境方針の策定。</li> <li>2. 統括環境管理責任者の任命、環境保全活動の取り組みに関する責任及び権限の付与。</li> <li>3. 内部環境監査の任命</li> <li>4. 環境マネジメントシステムの実施に必要な資源（人材、資金、技術、インフラストラクチャー等）の提供。</li> <li>5. 代表者による全体の見直しと評価を行う。</li> </ol>
統括環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. エコアクション21の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理。</li> <li>2. EA21統括事務局を任命、事務局責任者として運営。</li> <li>3. 環境推進委員会を主催する。</li> <li>4. 環境関連文書の審査・承認をする。</li> <li>5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守の徹底。</li> <li>6. 環境マネジメントシステムの運営状況及び実績に関して、社長に報告。</li> </ol>
統括推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境マネジメントシステムの運用状況の進捗を確認する。</li> <li>2. 環境推進委員会は、統括環境管理責任者を委員長する。</li> <li>3. 構成員を環境管理責任者と統括事務局とする。</li> </ol>
統括事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統括環境管理責任者の補佐、及び全社の実業務の支援を行う</li> <li>2. 環境マネジメントマニュアル及び環境活動レポート、全社共通の規程、全社環境目標、その他文書を作成。</li> <li>3. 全社に関わるその他文書を作成する。</li> <li>4. 全社環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価を実施。</li> <li>5. 環境関連文書及び記録の整備及び保管。</li> </ol>
内部環境監査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているかを検証するため、内部環境監査を定期的実施する。</li> <li>2. 内部環境監査の結果を社長及び環境管理責任者に報告する。</li> </ol>
工場長 （環境管理責任者）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者として統括する。</li> <li>2. EA21推進委員会の委員長を兼務する。</li> <li>3. EA21事務局、EA21推進委員を任命する。</li> <li>4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する。</li> <li>5. EA21事務局の責任者として事務局運営。</li> <li>6. 事業所の環境関連文書の承認をする。</li> </ol>
EA21推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業所の環境マネジメントシステムの運用状況の進捗確認</li> <li>2. 委員長を工場長《環境管理責任者》とする。</li> <li>3. 構成員を部門責任者と事務局とする。</li> <li>4. 開催日 3か月に1回、開催する。</li> <li>5. 環境活動計画実施状況の評価（四半期ごとに評価を行い、事務局が環境活動計画に記載する）</li> <li>6. 事務局が議事録作成</li> </ol>
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>6. 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、記録の作成</li> <li>7. 工場の環境関連文書及び記録の整備、保管</li> </ol>
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EA21推進委員とする。</li> <li>2. 自部門における環境方針の周知、従業員に対する教育、訓練の実施</li> <li>3. 自部門に関連する環境活動計画の作成及び実施、達成状況を報告</li> <li>4. 特定された自部門の緊急事態の手順書作成及びテスト、訓練を実施。</li> <li>5. 特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>6. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ol>
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。</li> </ol>

### ■環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・統括環境管理責任者 取締役生産本部長兼環境部長 加藤 幸作

・担当者 統括事務局

TEL: 042-702-0011 FAX: 042-702-2611

URL: <http://www.primedelica.com/index.html>

## 3. 環境方針

### プライムデリカ環境方針

#### 【基本方針】

プライムデリカは、「私達は、お客様に信頼される誠実な企業でありたい」という基本理念のもとに事業展開しています。

食品企業である私たちは、製品原材料の多くを大地と自然の恩恵から享受しており、その豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。

地球環境保全是経営の最重要課題のひとつであると認識し、持続可能な社会の実現に向け、以下の行動指針に基づき、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営を推進します。

#### 【行動指針】

##### 1. 環境負荷の低減

・事業活動において、省エネルギー・省資源化・食品残渣の発生抑制及びその他廃棄物の削減等、環境負荷の低減に努めます。さらに、太陽光発電等の自然エネルギーの利用に積極的に取り組みます。

##### 2. 循環型社会の形成

・事業活動において、水・熱の再利用化、食品残渣及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

##### 3. 環境への配慮

・環境に配慮した機械設備、備品等の購入を推進します。

##### 4. 法規制順守

・環境関連法規制等の要求事項を順守するとともに、環境リスクの未然防止に努めます。

##### 5. 地域との共生

・環境保全活動に積極的に参加し、地域社会への貢献とコミュニケーションを図ります。

##### 6. 社外公表・周知

・環境情報を広く適切に開示し、全従業員に対し周知徹底するとともに、社外にも公開します。

プライムデリカ株式会社

代表取締役社長

齊藤 正義

制定日 2014年 11月29日

最終改定 2015年 5月 5日

## 4. 環境目標とその実績、次年度の取組

当社は全国11か所に拠点を設け、毎日24時間生産活動を続けています。2017年度は認証登録範囲である本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場、豊田第一工場、豊田第二工場、枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場の10工場と、適用拡大範囲である相模原第二工場でエコアクション21の活動に取組みました。

### ■認証登録範囲

本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場、豊田第一工場、豊田第二工場、枚方工場・宝塚工場・新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場

活動期間 2017年4月～2018年3月

上記の10工場は、2016年度のデータを基準に目標を設定し、エコアクション21の活動に1年間取組みました。

### ■適用拡大範囲 相模原第二工場

活動期間：2018年1月～2018年3月

相模原第二工場は、エコアクション21の適用拡大のため、エコアクション21の活動に3カ月間取組みました。相模原第二工場は2017年4月に稼働した工場のため、2017年6月～12月の実績をもとに目標を設定しました。

### ※電力の排出係数について

環境目標を設定するに当たり、2017年度購入電力のCO<sub>2</sub>実排出係数は国が公表する電気事業者毎の数値より2016年度公表のものを使用しました。

本社・相模原第一工場、相模原第二工場、龍ヶ崎工場  
豊田第一工場、豊田第二工場  
枚方工場、宝塚工場  
新居浜工場  
宗像工場、佐賀工場、宮崎工場

【単位：kg-CO<sub>2</sub>/kWh】

東京電力(株):0.500  
中部電力(株):0.486  
関西電力(株):0.509  
四国電力(株):0.651  
九州電力(株):0.509

### ※自然エネルギーの利用について

環境方針に記載した自然エネルギーの利用として、太陽光発電を相模原第二工場、龍ヶ崎工場、豊田第二工場、新居浜工場および宮崎工場にて取り入れております。

### ※原単位について

当社では原単位を算出するにあたり、生産量(千pk)を使用しています。

### ※CO<sub>2</sub>の排出係数について

環境負荷の状況を把握するに当たり、排出量と排出係数は環境省公表のホームページのフォーマットの数値を使用しました。

また、蒸気については省エネ法の二酸化酸素係数を使用しました。

	排出係数	単位発熱量
灯油	0.0679	36.7(MJ/l)
重油	0.0693	39.1(MJ/l)
都市ガス	0.0513	41.1(MJ/Nm <sup>3</sup> )
液化石油ガス	0.0598	50.2(MJ/kg)
ガソリン	0.0671	34.6(MJ/l)
軽油	0.0687	38.2(MJ/l)
熱供給(蒸気)		60
熱供給(冷水)		57

【単位：kg-CO<sub>2</sub>/MJ】

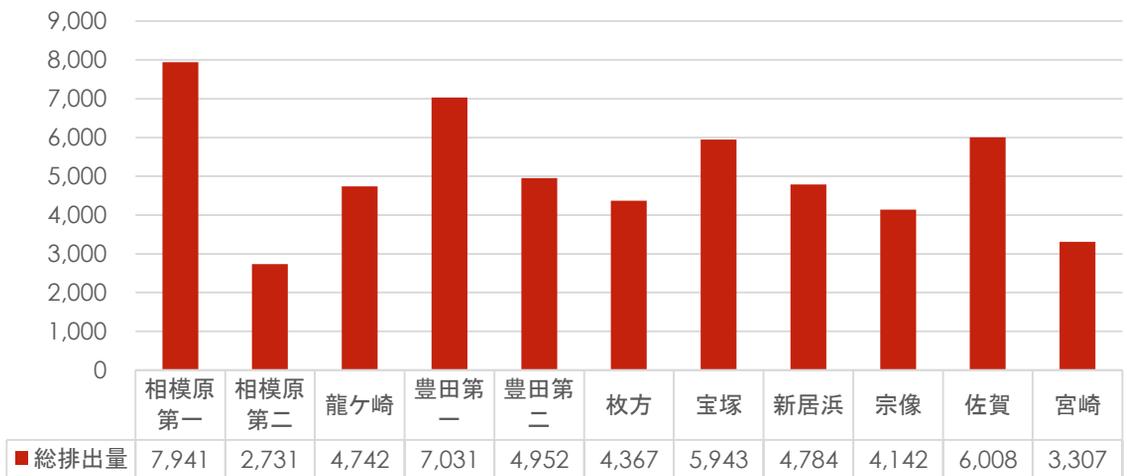


## (1) 全社

		総量	単位	原単位	単位
二酸化炭素	総排出量	109,947.5	t-CO <sub>2</sub>		
	CO <sub>2</sub> の削減	60,047,335.5	kg-CO <sub>2</sub>	104.9	kg-CO <sub>2</sub> /千pk
	電気使用量の削減	75,122,202.3	kWh	131.3	kWh/千pk
	化石燃料使用量の削減(都市ガス)	8,986,273.7	m <sup>3</sup>	17.2	m <sup>3</sup> /千pk
	化石燃料使用量の削減(LPガス)	625,472.0	m <sup>3</sup>	12.5	m <sup>3</sup> /千pk
廃棄物	食品廃棄物排出量の削減	18,284,683.0	g	32.0	g/千pk
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上	89.2	%		
	その他産業廃棄物排出量の削減	7,884,295.0	g	13.8	g/千pk
水	水使用量の削減	1,651,989.5	m <sup>3</sup>	2.9	m <sup>3</sup> /千pk
その他	グリーン購入の推進	57.0	点		
(千tCO <sub>2</sub> )	環境改善活動の実施	27.0	件		
	地域貢献活動の実施	88.0	件		

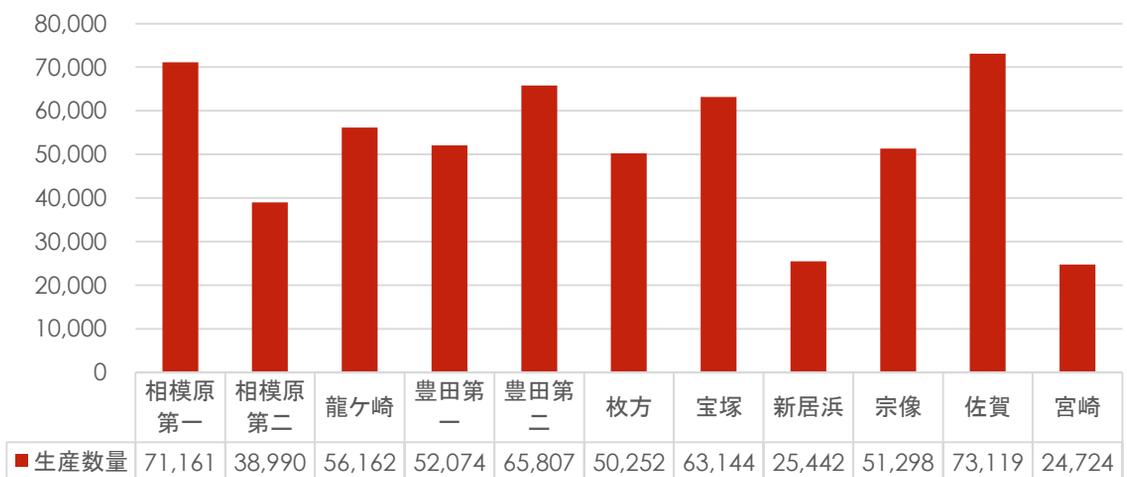
(t-CO<sub>2</sub>)

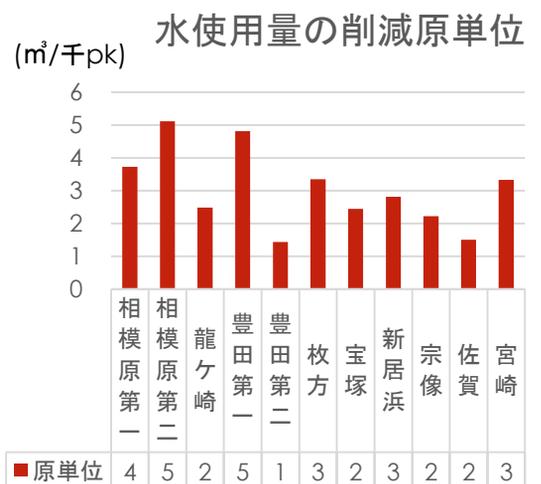
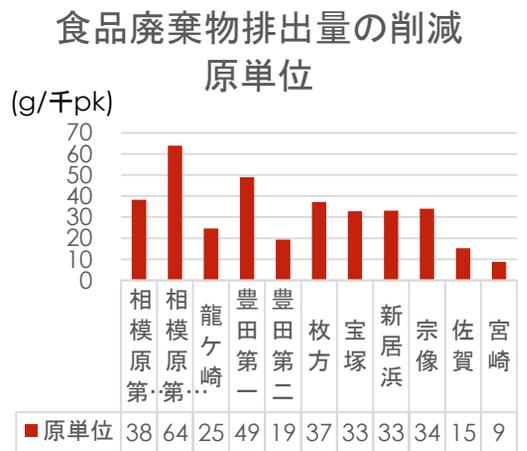
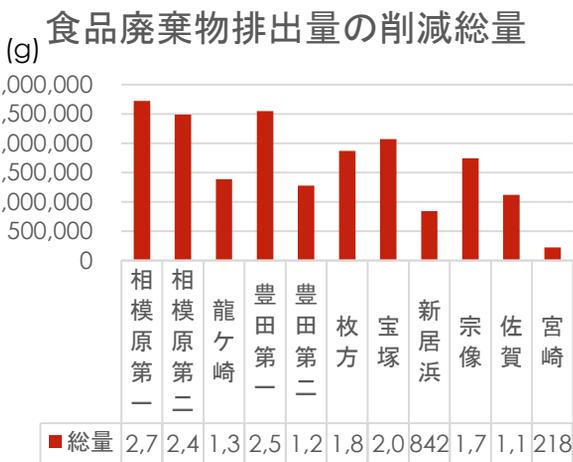
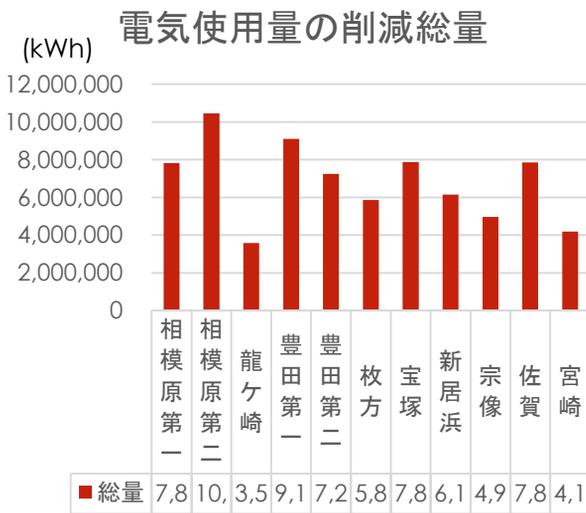
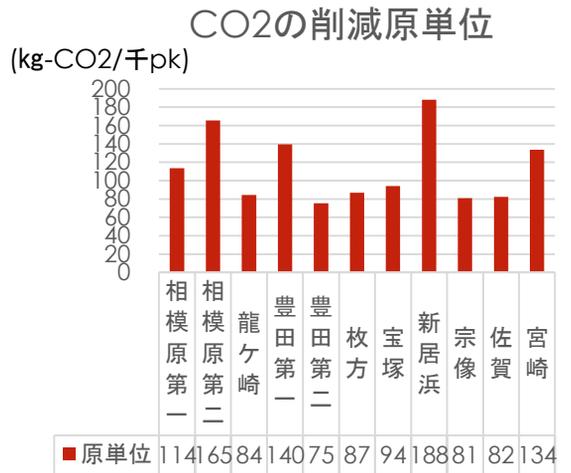
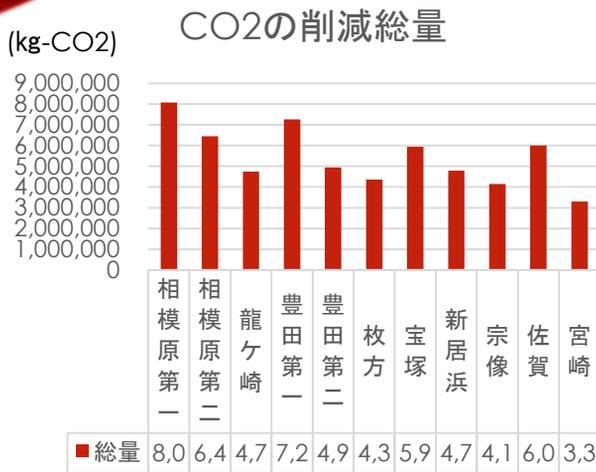
### 総排出量



(千pk)

### 生産数量



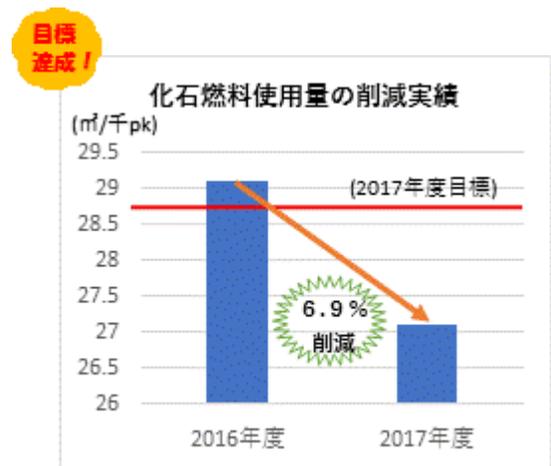
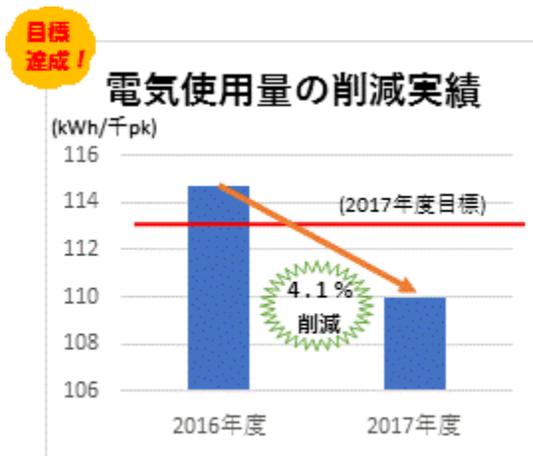




## (2)各工場

### ①本社、相模原第一工場

活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	8,459.2	—	7,940.7	-518.5	—	—
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	117.9	116.7	112.6	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	114.7	113.5	110.0	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	29.1	28.8	27.1	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	39.71	38.9	38.3	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	86.5	85%以上	89.6	○	85%以上	95%以上
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	8.1	8.0	7.6	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	4.7	4.6	3.7	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	10	11	20	○	2017年度 1点追加	2018年度 △1%
	環境改善活動の実施 (件)	5	5	5件	○	5件以上	5件以上
	地域貢献活動の実施 (件)	17	12	16件	○	12件以上	12件以上



目標達成!

### 食品廃棄物排出量の削減実績



目標達成!

### 食品廃棄物リサイクル率の維持向上実績



目標達成!

### その他産業廃棄物排出量の削減実績



目標達成!

### 水使用量の削減実績



目標達成!

### グリーン購入の推進実績



目標達成!

### 環境改善活動の実施実績



目標達成!

### 地域貢献活動の実施実績



#### ■次年度の取組

相模原第一工場では、生産効率向上の取り組みによりエネルギー使用量や食品廃棄物の排出量削減につながった。相模原第二工場の新設で生産設備を移管したこともエネルギー使用量削減に寄与した。

次年度も既存の活動を継続し、食品ロスの発生等に取り組む。また、工場棟のLED化、高効率ボイラーへの切り替え等、省エネ設備の導入を検討する。



## ②相模原第二工場



活動項目	基準 2017年度	目標 2017年度	実績 運用期間	評価	目標 2018年度	目標 2019年度	
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	-	2731.1		-	-	
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	258.3	255.7	183.8	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	310.9	307.8	221.2	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	52.1	51.6	32.6	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	69.8	69.1	52.5	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	63.6	63.6%以上	63.4	×	85%以上	95%以上
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	17.0	16.9	15.1	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	5.4	5.3	5.1	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	実績なし	実績把握	7件	○	年1点 以上拡大	年1点 以上拡大
	環境改善活動の実施 (件)	実績なし	実績把握	3件	○	1件以上	1件以上
	地域貢献活動の実施 (件)	実績なし	3件	3件	○	年16件 以上	年16件 以上

目標  
達成!

### CO2の削減実績



目標  
達成!

### 電気使用量の削減実績



目標  
達成!

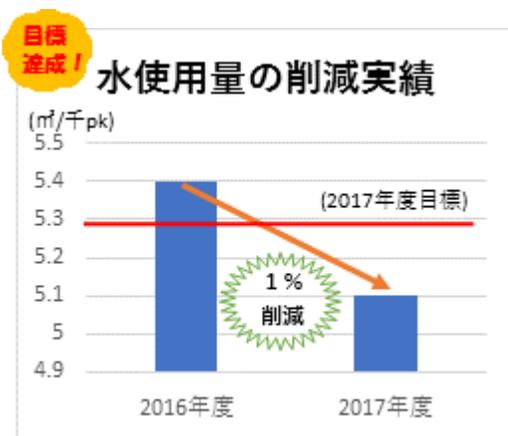
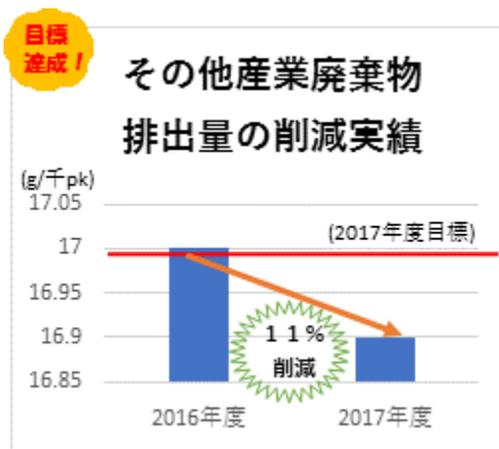
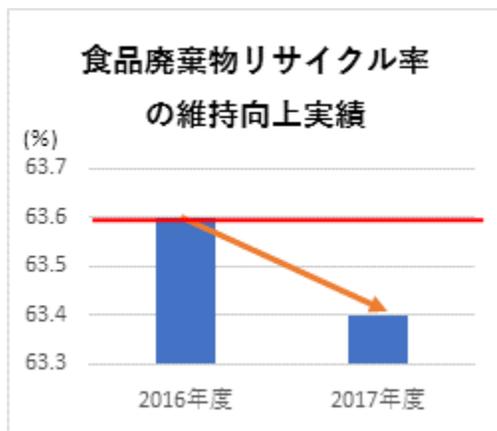
### 化石燃料使用量の削減実績



目標  
達成!

### 食品廃棄物排出量の削減実績





#### ■次年度の取組

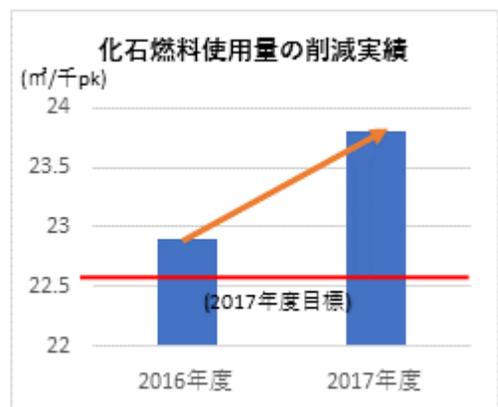
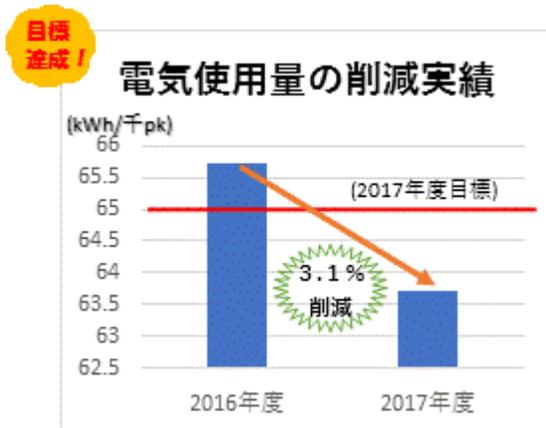
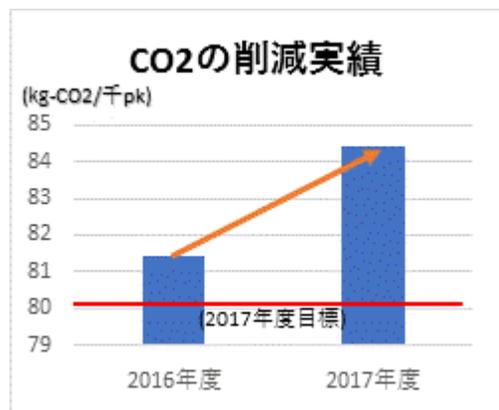
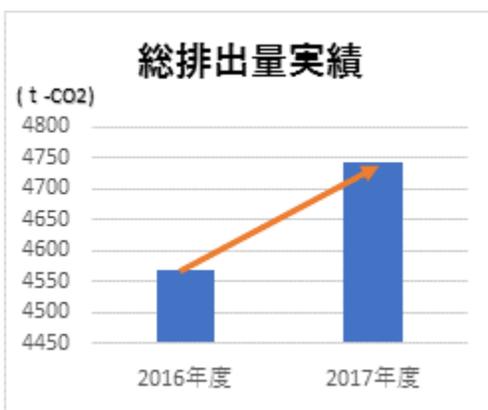
相模原第二工場は、2017年4月から稼働した新工場である。昨年度の実績がないため、運用期間の目標は2017年6月から12月までの半年の実績をもとに算出した。消灯や未使用機械の電源オフ等、環境活動に取り組んだ結果が目標達成につながった。食品リサイクル率は、工場の立ち上げ時の分別指導不足、廃棄物処理業者の処理方法の問題から目標値をクリアできなかった。

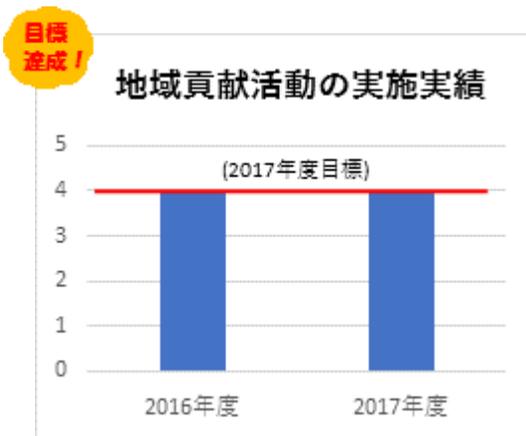
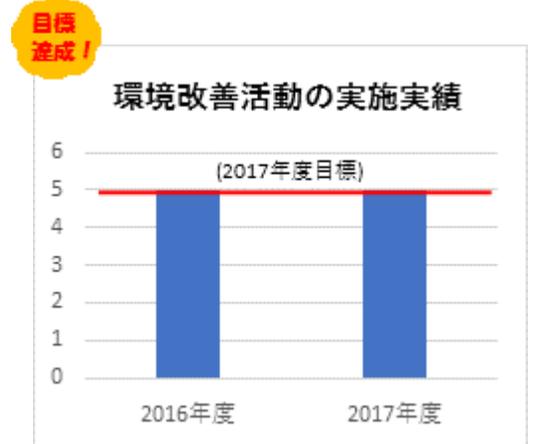
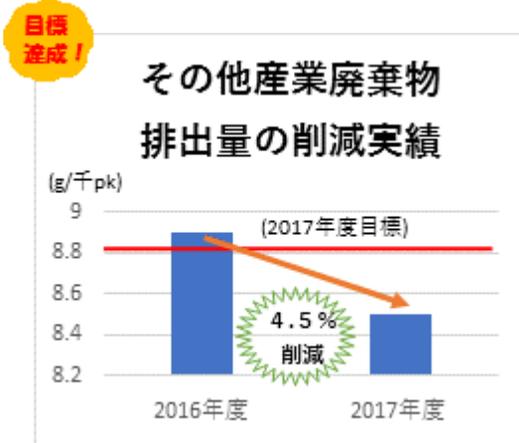
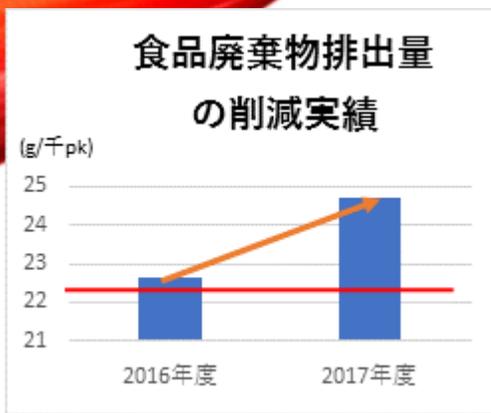
次年度は昨年度の取り組みを継続する。食品リサイクル率の目標を達成するため、従業員へ分別を指導し、未分別による焼却処分量を減らす。また、廃棄物処理業者を再選定を行い、85パーセント以上を目指す。



## ②龍ヶ崎工場

活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4,567.2	—	4,742.0	+174.8	—	—
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	81.42	81.0	84.4	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	65.74	65.1	63.7	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	22.9	22.6	23.8	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	22.63	22.4	24.7	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	86.8	85%以上	91.3	○	85%以上	95%以上
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	8.9	8.8	8.5	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	4.65	4.6	2.5	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	1点拡大	1点拡大	1点拡大	○	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	活動の 推進	改善活動の 実施	改善活動の 実施	○	改善活動 の推進	改善活動 の推進
	地域貢献活動の実施 (件)	4件	4件	4件	○	年4件以上	年4件以上





#### ■次年度の取組

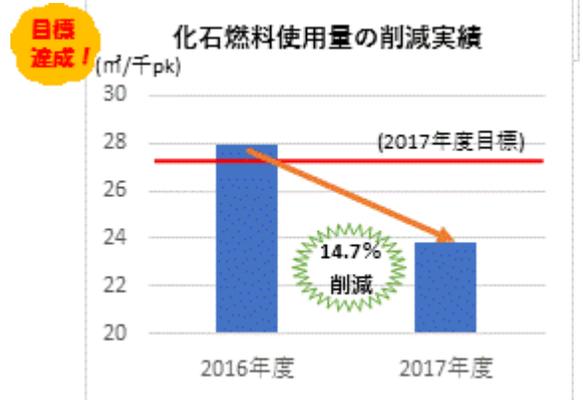
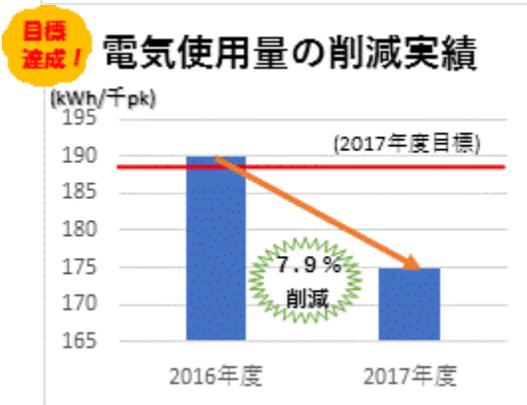
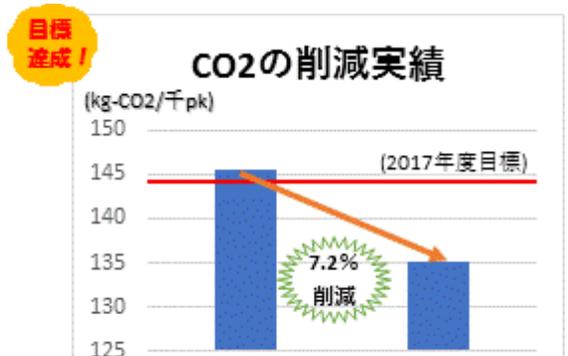
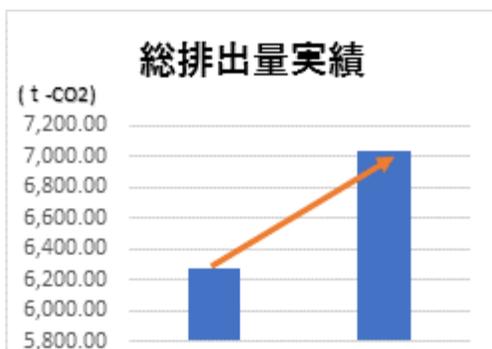
龍ヶ崎工場では生產品目の変更に伴い、化石燃料の使用量が増加した。商品が変わり、加熱等の生産工程が増えている。  
エネルギー使用量の大きい商品の廃棄ロスの削減、省エネ活動を推進する



## ②豊田第一工場



活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	6,276.7	—	7,030.5	+753.8	—	—
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	145.5	144.1	135.0	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	189.9	188.0	174.9	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	27.9	27.6	23.8	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	43.8	42.9	47.8	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	99.9	×	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	13.1	13.0	15.7	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	5.1	5.0	4.7	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	1点拡大	1点拡大	0件	×	1点拡大	1点拡大
	環境改善活動の実施 (件)	10件	改善活動の 実施	改善活動の 実施	○	改善活動の 推進・実施	改善活動の 推進・実施
	地域貢献活動の実施 (件)	協賛活動 1件	協賛活動 1件	協賛活動 1件	○	協賛活動 1件	協賛活動 1件



### 食品廃棄物排出量の削減実績



### 食品廃棄物リサイクル率の維持向上実績



### その他産業廃棄物排出量の削減実績



目標達成!

### 水使用量の削減実績



### グリーン購入の推進実績



目標達成!

### 環境改善活動の実施実績



目標達成!

### 地域貢献活動の実施実績



#### ■次年度の取組

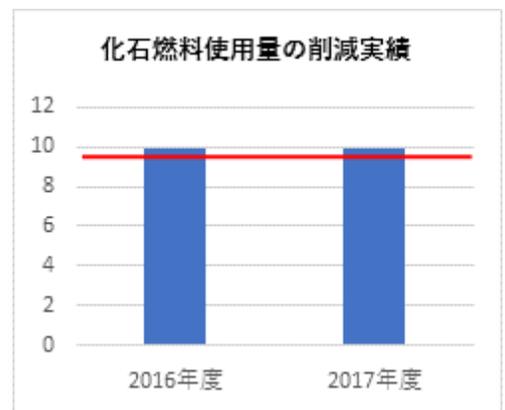
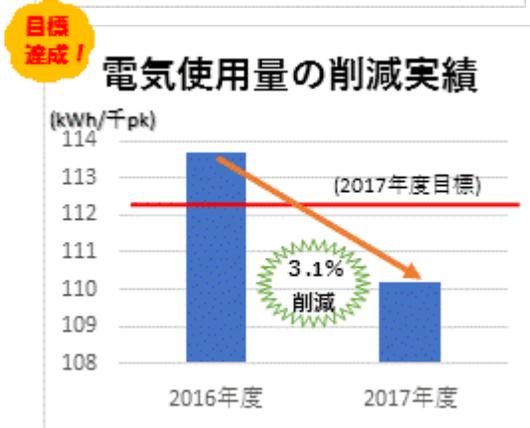
豊田第一工場は生産数量が増加し、効率向上により電気使用量、食品廃棄物の排出量が改善された。生産品目の変更に伴い、化石燃料、水の使用量が増加している。

次年度よりガス・水の使用量が多い商品への対策を行う。また、汚れ廃プラの重量が増えているため、従業員へ分別指導を行う。また、グリーン購入について、費用面を考慮して交換できるものから切り替える。



## ②豊田第二工場

活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4,726.5	—	4,952.2	+225.7	—	—
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	77.1	76.4	75.4	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	113.7	112.6	110.2	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	9.9	9.8	9.9	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	22.2	21.8	19.4	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	99.9	×	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	13.5	13.4	19.3	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	1.5	1.4	1.4	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	1点拡大	1点拡大	1点拡大	○	1点拡大	1点拡大
	環境改善活動の実施 (件)	6件	1件拡大	7件	○	1件拡大	1件拡大
	地域貢献活動の実施 (件)	3件	3件以上	4件	○	1件拡大	1件拡大



目標達成!

### 食品廃棄物排出量の削減実績



### 食品廃棄物リサイクル率の維持向上実績



### その他産業廃棄物排出量の削減実績



### 水使用量の削減実績



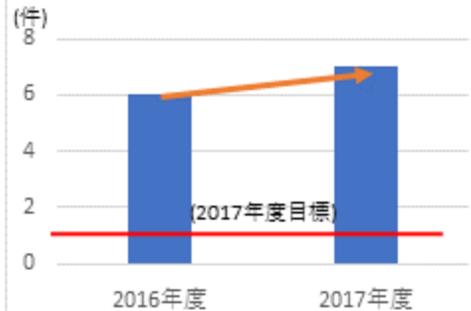
目標達成!

### グリーン購入の推進実績



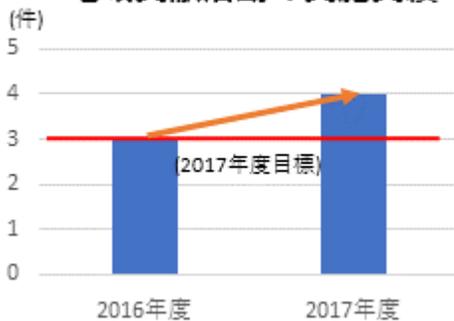
目標達成!

### 環境改善活動の実施実績



目標達成!

### 地域貢献活動の実施実績



#### ■次年度の取組

豊田第二工場では、野菜くずの脱水で汚泥の発生量が増加している。また、ガスの使用量は2017年11月から下がってきているため、現在の省エネ活動を継続する。

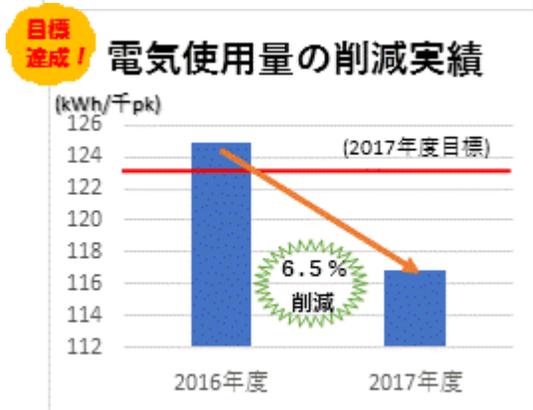
次年度は、水の使用量を減らしていくため、作業員へ洗浄機械の使用方法の再指導などを行っていく。

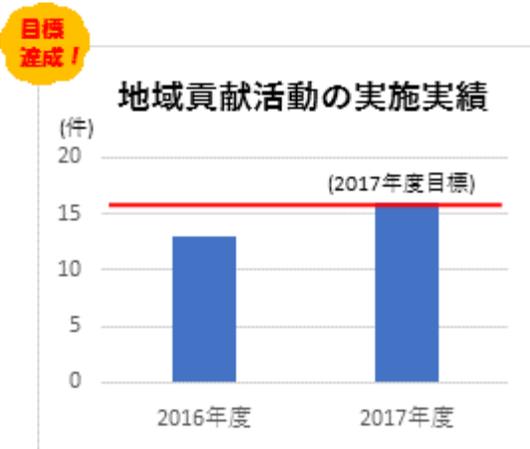
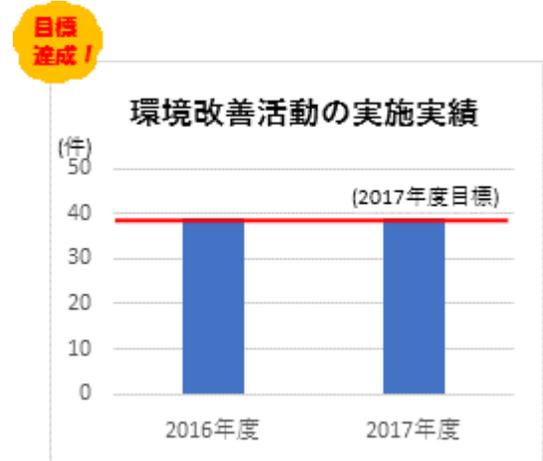
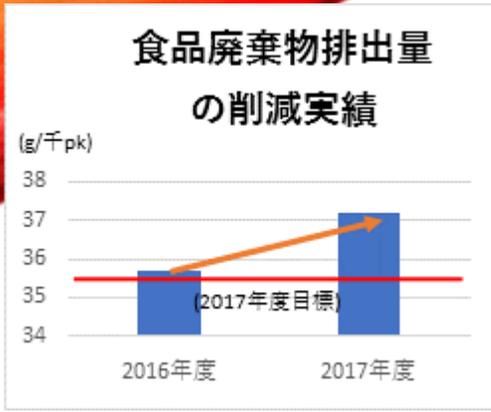


## ②枚方工場



活動項目	基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度	
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4,601.5	—	4,367.0	-234.5	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	92.3	91.4	86.9	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	124.9	123.6	116.8	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	14.0	13.9	13.4	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	35.7	35.3	37.2	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	17.8	17.6	17.4	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	3.1	3.1	3.4	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	20点	1点追加	24点	○	年1点以上 拡大	年2点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	月3件	月3件	月3件	○	1件以上 追加	2件以上 追加
	地域貢献活動の実施 (件)	13件	16件	16件	○	年16件 以上	年16件 以上





#### ■次年度の取組

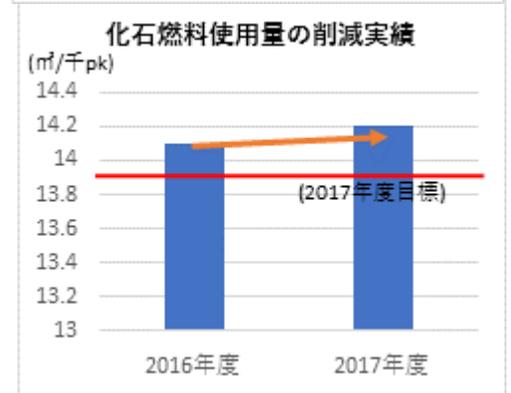
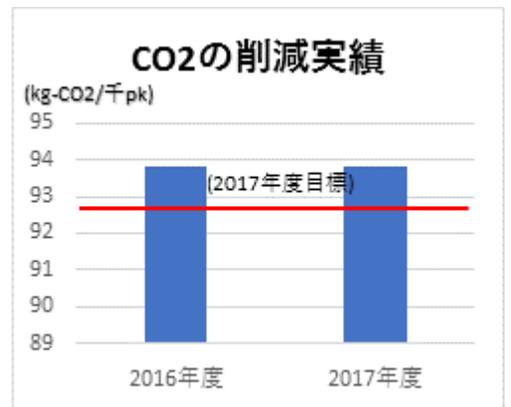
枚方工場では、食品廃棄物と水使用量の目標ができなかった。廃棄ロスが多い商品の改善、水の使用量の見直し、従業員へ節水を周知する。

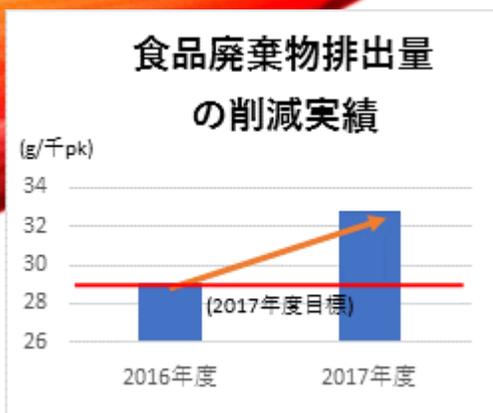


## ②宝塚工場

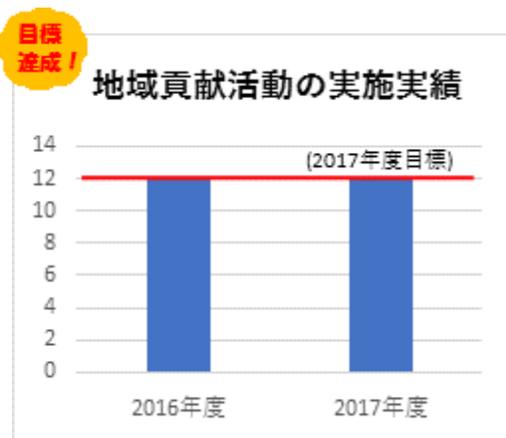
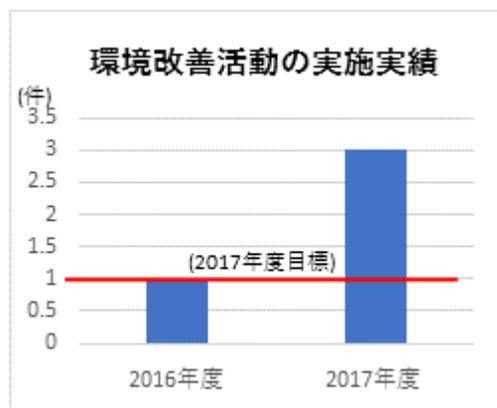
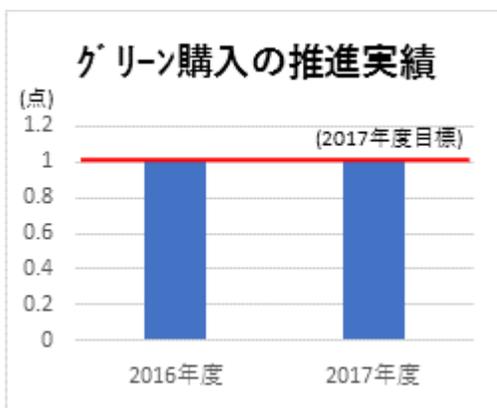
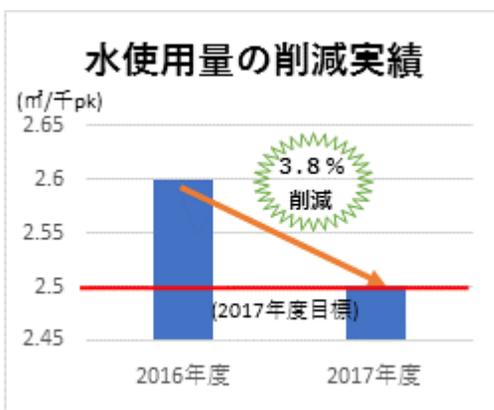
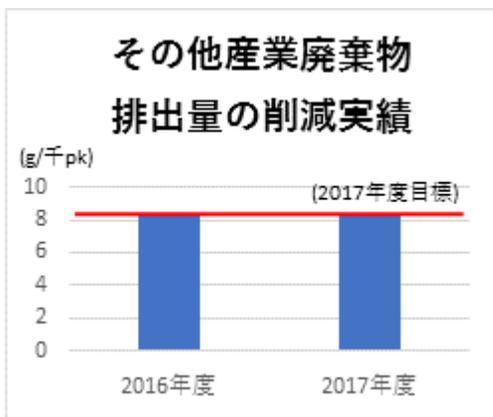
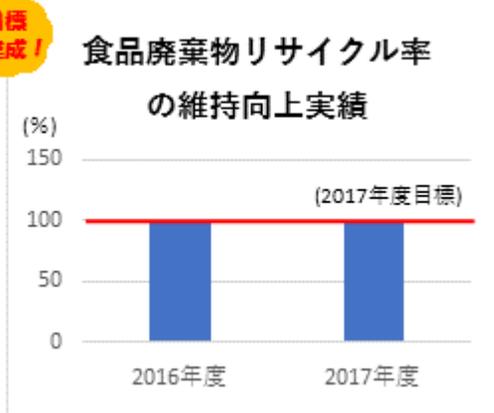


活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	5,918.0	—	5,943.4	25.4	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	93.8	92.9	94.1	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	124.5	123.2	124.7	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	14.1	13.9	14.2	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	29.1	28.5	32.8	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	8.3	8.2	8.3	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	2.6	2.5	2.5	○	2016年度 △1%	2017年度
その他	グリーン購入の推進 (点)	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大	○	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	改善活動の 実施	改善活動の 実施	3件	○	改善活動 の実施	改善活動 の実施
	地域貢献活動の実施 (件)	12件	12件	12件	○	12件	12件





目標達成!



#### ■次年度の取組

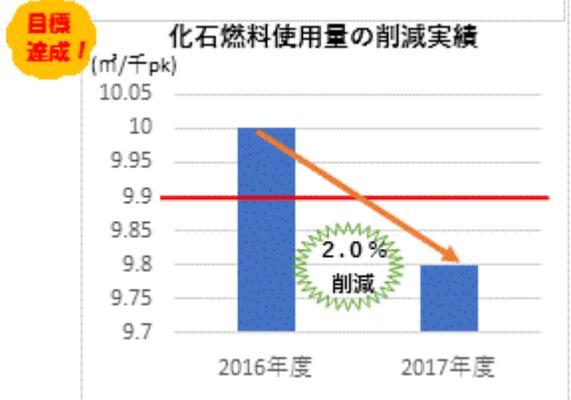
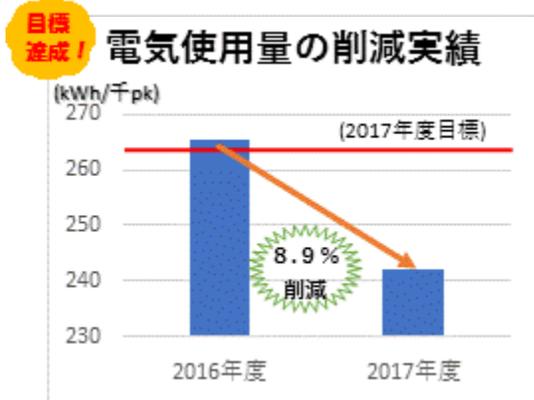
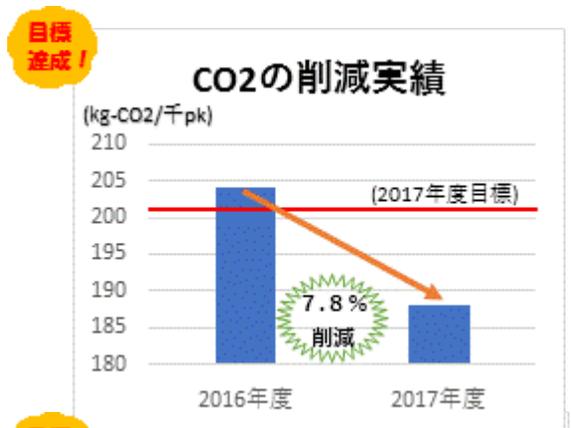
宝塚工場は、LED照明の導入による電気使用量の削減、蒸気使用機器のウォーミングアップ時間の見直し、具材の廃棄削減などに取り組む。



## ②新居浜工場



活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (kg-CO2)	4,729.5	—	4,784.4	+54.9	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	204.0	201.9	188.1	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	265.5	262.9	241.9	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	10.0	9.9	9.8	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	34.6	33.9	33.1	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	7.9	7.8	8.5	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	2.6	2.6	2.8	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	12点	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大	○	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	4件	改善活動の 実施	改善活動の 実施	○	改善活動 の実施	改善活動 の実施
	地域貢献活動の実施 (件)	11件	11件	11件	○	11件	11件



目標達成!

### 食品廃棄物排出量の削減実績



目標達成!

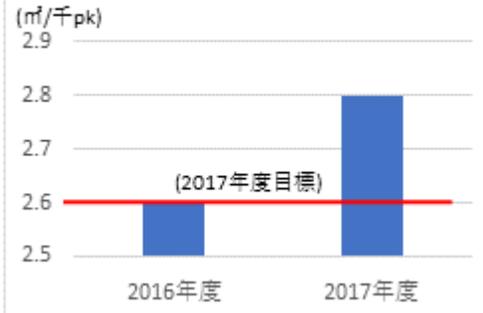
### 食品廃棄物リサイクル率の維持向上実績



### その他産業廃棄物排出量の削減実績



### 水使用量の削減実績



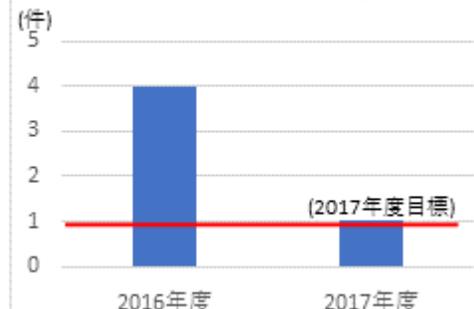
目標達成!

### グリーン購入の推進実績



目標達成!

### 環境改善活動の実施実績



目標達成!

### 地域貢献活動の実施実績



#### ■次年度の取組

新居浜工場では、生産数量の増加で効率が上がり目標をおよその目標を達成することができた。廃プラの排出量が増え、その他産業廃棄物の排出量が増加していることから、対策を講じ排出量を減らす。



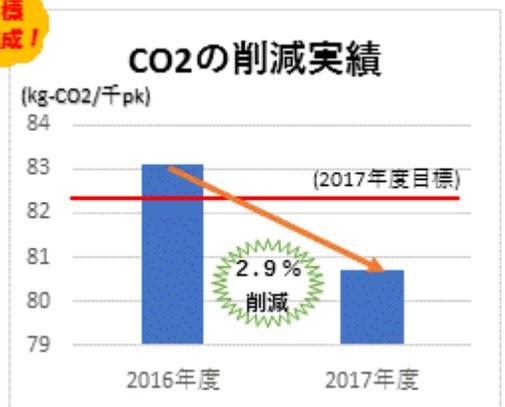
## ②宗像工場



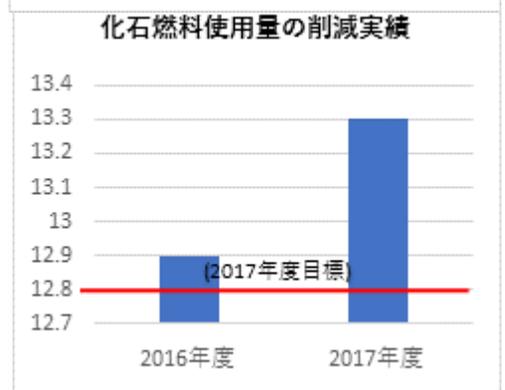
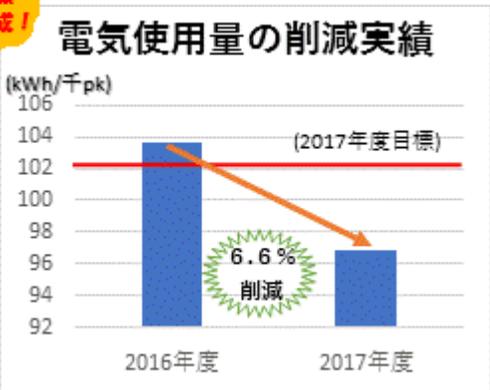
活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4,098.3	—	4,141.5	+43.2	—	—
	CO2の削減 (kg-CO2/千pk)	83.1	82.3	80.7	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	103.6	102.6	96.8	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	12.9	12.8	13.3	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	30.2	29.9	34.0	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	67.2	85	73.3	×	85	95
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	21.8	21.6	23.6	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	2.4	2.4	2.2	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大	○	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	廃棄量の 改善	廃棄量の 改善	廃棄量の 改善	○	廃棄量の 改善	廃棄量の 改善
	地域貢献活動の実施 (件)	年3件	年3件 以上	年3件	○	年3件 以上	年3件 以上



目標達成!



目標達成!



### 食品廃棄物排出量の削減実績



### 食品廃棄物リサイクル率の維持向上実績



### その他産業廃棄物排出量の削減実績



### 水使用量の削減実績



目標達成!

### グリーン購入の推進実績



目標達成!

### 環境改善活動の実施実績



目標達成!

### 地域貢献活動の実施実績



### ■次年度の取組

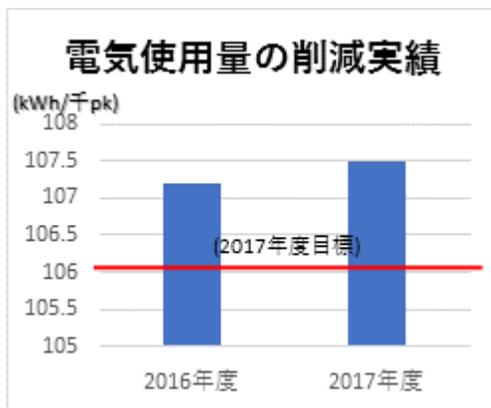
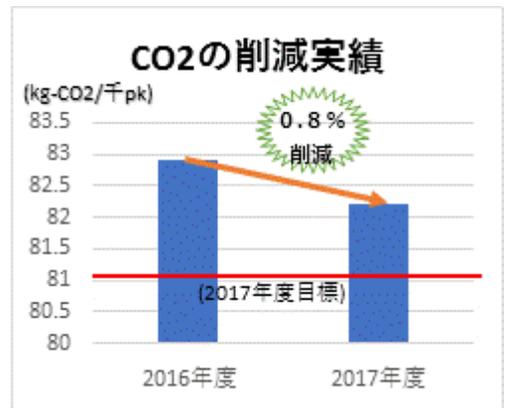
電気やガス、水、廃棄物の使用量を日々確認し、使用量が多い日は原因を特定し、対策を行う。食品廃棄物のリサイクル率を上げるため、分別・処分業者の切り替えを検討する。

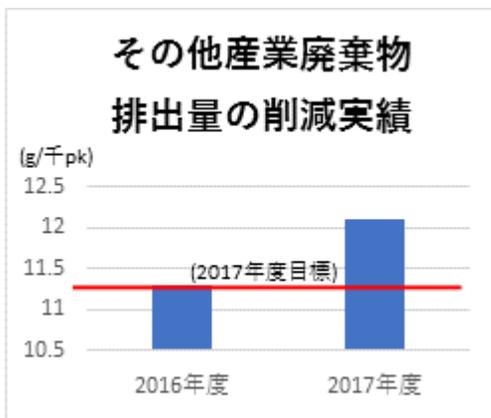
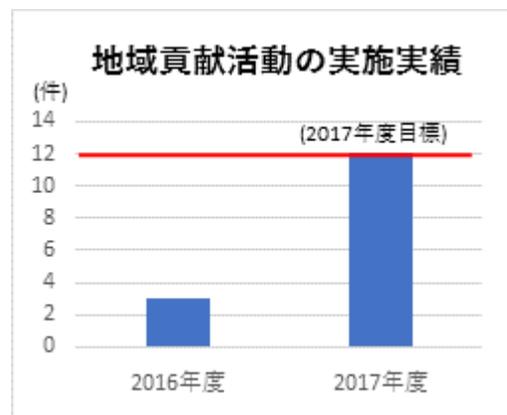
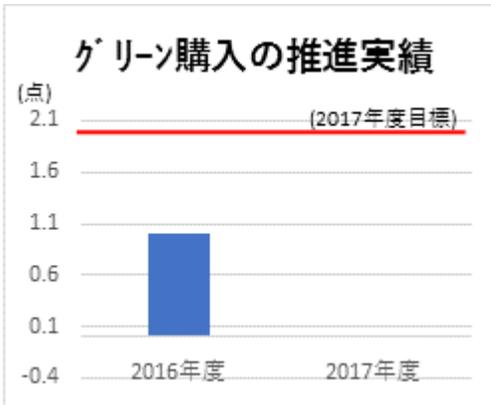
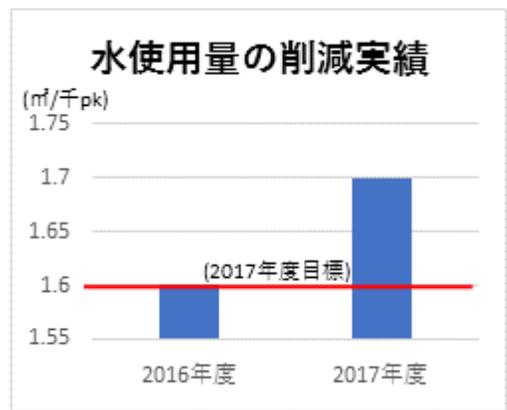
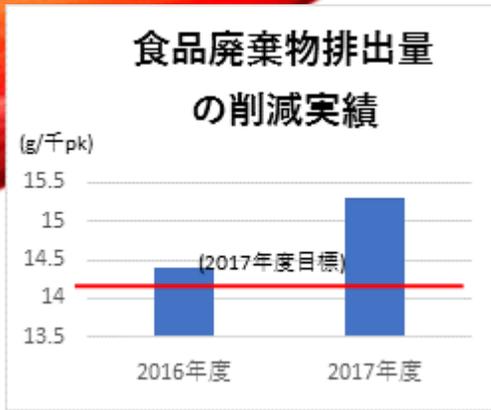


## ②佐賀工場



活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	6,088.3	—	6,007.8	-80.5	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	82.9	82.1	82.2	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	107.2	106.1	107.5	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	13.7	13.5	12.9	○	2017年度 △1%	2018年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	14.4	14.2	15.3	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)						
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	11.3	11.2	12.1	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	1.6	1.6	1.7	×	2017年度 △1%	2018年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	年1点 拡大	2点	0点	×	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	廃棄量の 把握	廃棄量の 把握	主要廃棄量 把握と改善	×	完成品 廃棄削減	完成品 廃棄削減
	地域貢献活動の実施 (件)	3件	清掃活動 12件	清掃活動 12件	○	地域への 協賛	地域への 協賛





#### ■次年度の取組

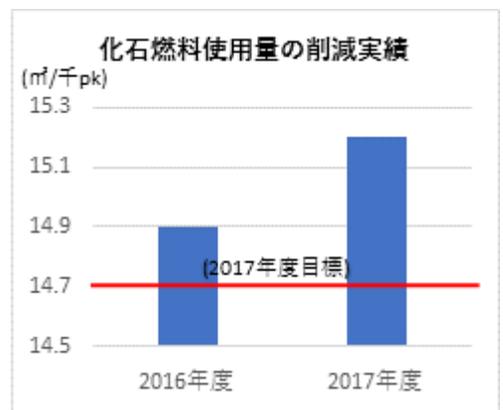
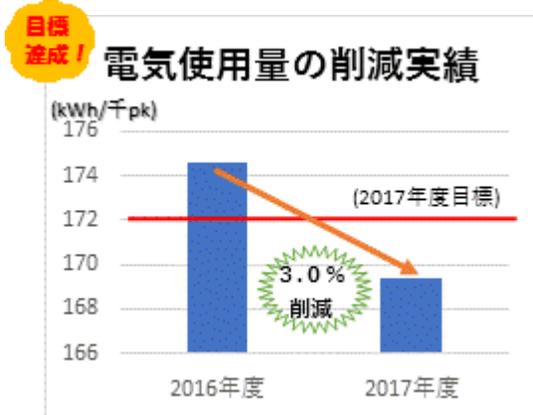
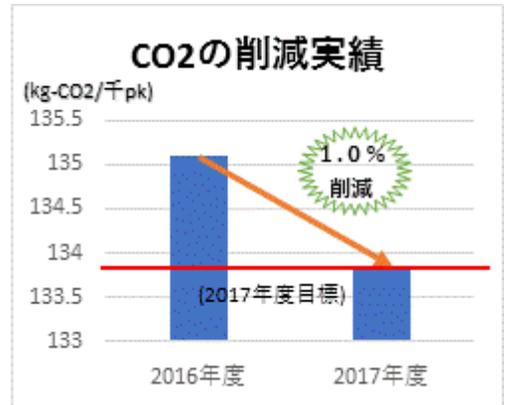
佐賀工場では他工場へ生産商品を移管し、商品構成に変化があった。そのため、電気や水の使用量等の目標を達成できなかった。  
次年度は、エネルギー消費の大きい商品を特定し、廃棄量の削減を図る。

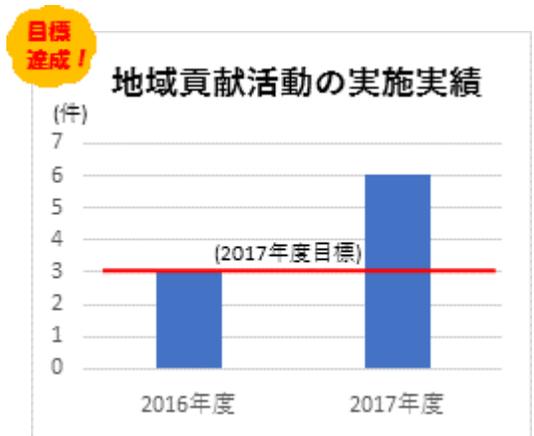
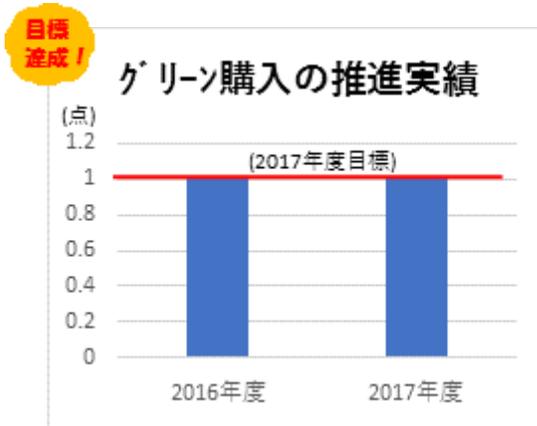
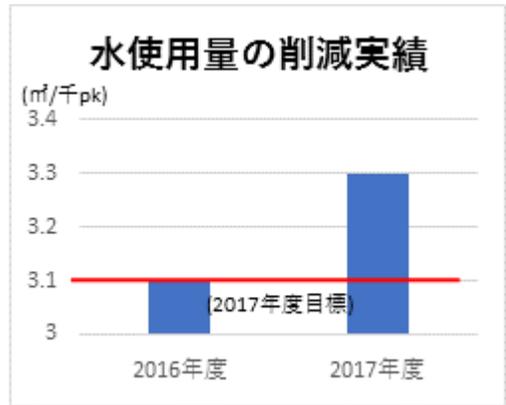
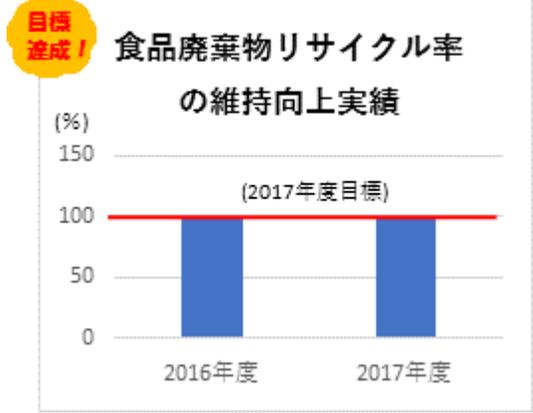
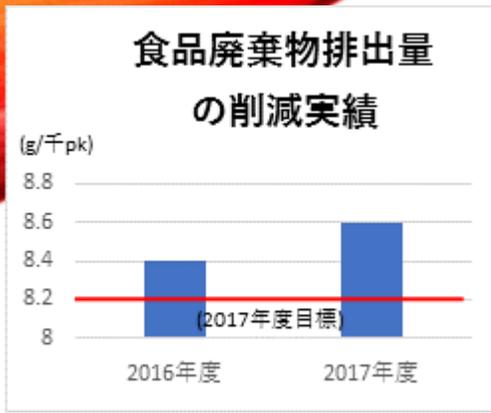


## ②宮崎工場



活動項目		基準 2016年度	目標 2017年度	実績 2017年度	評価	目標 2018年度	目標 2019年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	3,341.0	—	3,306.9	-34.1	—	—
	CO <sub>2</sub> の削減 (t-CO <sub>2</sub> /千pk)	135.1	133.7	133.8	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	174.6	172.8	169.4	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	14.9	14.7	15.2	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	8.4	8.3	8.9	×	2016年度 △1%	2017年度
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	100	100
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	28.3	28.0	27.6	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> /千pk)	3.1	3.1	3.3	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
その他	グリーン購入の推進 (点)	年1件拡大	年1件拡大	年1件拡大	○	年1点以上 拡大	年1点以上 拡大
	環境改善活動の実施 (件)	廃棄量の把握	品目選定削減	重点品目選定	×	廃棄量の改善	廃棄量の改善
	地域貢献活動の実施 (件)	年3件	年3件以上	年6件	○	年3件以上	年3件以上





#### ■次年度の取組

宮崎工場の商品構成の変化により、ガスと水の使用量が増加した。原材料のロス改善に取組み、省エネや廃棄物の削減に取り組む。また、巡回時に漏水や水の出っぱなしに気を付け、従業員への注意喚起を行う。

次年度の取り組みとして、環境改善活動はロスの大きい重点品目の選定まで行ったが、削減活動まで実施できなかったため、ロスの削減活動に取り組む。



## 5. 環境活動計画の取組

エコアクション21の認証取得した本社・相模原第一工場、相模原第二工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場、豊田第二工場、及び適用拡大中の枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場で環境活動に取組みました。各工場では本来業務の改善活動を継続的に実施しており、本業を通じての改善に努めてまいります。

<b>二酸化炭素排出量の削減</b> <b>(電気及び化石燃料の使用量の削減)</b>	<b>水使用量の削減</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然エネルギー(太陽光発電)の活用</li> <li>・ 社有車(低公害車)の活用</li> <li>・ 空調の温度管理の徹底、照明等消灯の徹底</li> <li>・ 使用後の機械の電源オフ</li> <li>・ BEMSによる電気使用状況の監視、制御の実施</li> <li>・ 生産効率の向上によるエネルギー使用量の削減</li> <li>・ 蒸気漏れ箇所の点検・補修</li> <li>・ スチームトラップの点検・補修</li> <li>・ 配管の保温を強化</li> <li>・ 生産機械のウォームアップ時間の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水漏れ箇所の点検・補修</li> <li>・ 節水こまの設置</li> <li>・ 清掃方法の見直し</li> </ul>
<b>食品廃棄物排出量の削減</b>	<b>グリーン購入</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不良品の低減による廃棄の削減</li> <li>・ 原材料の歩留り向上</li> <li>・ 期限切れ廃棄の削減</li> <li>・ 歩留りが良い野菜の仕入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グリーン購入実施状況の確認</li> <li>・ 事務用品のグリーン購入の推進</li> <li>・ 社有車(低公害車)の活用</li> </ul>
<b>その他産業廃棄物排出量の削減</b>	<b>環境改善活動</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業廃棄物と一般廃棄物の分別</li> <li>・ 廃棄物を有価物への切り替え</li> <li>・ トッピング、包装不良の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善活動の実施</li> <li>異物混入の防止活動による製品廃棄の低減</li> <li>商品の品質向上活動による製品廃棄の低減</li> <li>見込み生産数量の精度向上による製品廃棄の低減</li> </ul>
<b>食品廃棄物リサイクル率の維持向上</b>	<b>地域貢献活動</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品廃棄物とその他の廃棄物を分別</li> <li>・ 委託先の運搬業者、処分業者の現地確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のニーズの調査</li> <li>・ 工場周辺の清掃活動</li> <li>・ 地域への協賛活動</li> </ul>

### 活動テーマの抽出例

〇〇工場 エコアクション21 活動テーマ							
<b>1.1 二酸化炭素排出量の削減</b>	・ 電力、化石燃料使用量の削減 ・ 低公害車・低燃費車の継続活用 ・ 不良率の低減	消耗品 使い込み	<b>① 使い込み削減</b>	・ 不良率の低減 ・ 見込差異の削減 ・ ホイップ使い込みの削減 ・ カテゴリーごとに重点品目を設定し、使い込み削減 ・ 製品ごとの廃棄データを確認する。	<b>① 使い込み削減</b>	1 製品 見込差異、廃棄数の集計 2 不良率、廃棄数の集計 3 半製品 軽食・惣菜 4 調理パン 5 デザート 6 和菓子	リーダー サブリーダー A課長 a主任 B課長 b係長 C課長 c部員 D課長 d部員 E主任 e部員 F係長 f部員
<b>1.2 電力使用量の削減</b>	・ 冷蔵・冷凍庫出入口に省エネカーテン増設・修理 ・ 人感センサー取付し、部屋の照明自動管理 ・ BEMSデータの活用 ・ 空調・冷凍室内機の定期清掃 ・ エアコンの適正温度管理 ・ 不要時の機械OFF活動 ・ 不要時の照明OFF活動 ・ 不要時の時間帯別の照明OFF活動 ・ 不要時の空調OFF活動 ・ 設備のウォームアップ時間の基準作成、運用 ・ 日々の電力使用データの提示	設備 設備 広報 マニュアル 設備 E管理 E管理 E管理 E管理 E管理 マニュアル 広報	<b>② エネルギー管理</b>	・ 不要時の機械OFF活動 ・ 不要時の照明OFF活動 ・ 不要時の時間帯別の照明OFF活動 ・ 不要時の空調OFF活動	7 ホイップの改善 8 重点項目の設定、改善 9 調理パン 10 デザート 11 和菓子	F係長 f部員 G係長 g部員 H主任 h部員 I主任 i部員 J主任 j部員	
<b>1.3 都市ガス使用量の削減</b>	・ ボイラー効率改善への検討 ・ 配管部保温の強化 ・ スチームトラップの定期点検 ・ 設備のウォームアップ時間の基準作成、運用 ・ 蒸気漏れ箇所の低減活動 ・ 主要設備のガス使用量の記録・提示 ・ 日々のガス使用データの提示	設備 設備 設備 マニュアル 設備 広報	<b>③ 消耗品削減</b>	・ 低公害車・低燃費車の継続活用 ・ 腕カバーのロス削減 ・ 今年度用品類購入実績の把握 ・ グリーン購入品候補選定	<b>② エネルギー管理</b>	11 揭示物作成、現場巡回 12 腕カバー消費量の確認、削減取組	リーダー サブリーダー D課長 E主任 G係長 I主任
<b>2.1 食品廃棄物排出量の削減</b>	・ 見込差異の削減 ・ ホイップ使い込みの削減 ・ カテゴリーごとに重点品目を設定し、使い込み削減 ・ 日々のガス使用データの提示	使い込み 使い込み 使い込み 広報	<b>④ 設備改善、メンテナンス</b>	・ エアコンの適正温度管理 ・ 冷蔵・冷凍庫出入口に省エネカーテン増設・修理 ・ 人感センサー取付し、部屋の照明自動管理 ・ ボイラー効率改善への検討 ・ 配管部保温の強化 ・ スチームトラップの定期点検 ・ 蒸気漏れ箇所の低減活動 ・ 手洗い用水栓を節水型/バブル90に変更 ・ 水漏れ箇所の低減活動	<b>④ 設備改善、メンテナンス</b>	13 蒸気漏れ、水漏れ確認巡回 14 省エネカーテンSNT、保守 15 マニュアル作成、運用	リーダー サブリーダー A課長 J主任 B課長 k部員 C課長 l部員 F係長 F係長 F係長 b係長
<b>2.3 その他産業廃棄物排出量の削減(廃プラ、汚泥)</b>	・ 腕カバーのロス削減	消耗品	<b>⑤ マニュアル作成、運用</b>	・ 空調・冷凍室内機の定期清掃 ・ 設備のウォームアップ時間の基準作成、運用 ・ 設備のウォームアップ時間の基準作成、運用 ・ サニテーションマニュアルの作成	<b>⑤ マニュアル作成、運用</b>	16 マニュアル作成、運用	リーダー サブリーダー B課長 F係長 F係長 b係長
<b>3 水資源投入量の削減</b>	・ 手洗い用水栓を節水型/バブル90に変更 ・ サニテーションマニュアルの作成 ・ 水漏れ箇所の低減活動 ・ 日々の水使用データの提示	設備 マニュアル 設備	<b>⑥ 広報</b>	・ BEMSデータの活用 ・ 日々の電力使用データの提示	<b>⑥ 広報</b>	17 データ集計、提示作成 18 地域活動(外周清掃)	リーダー サブリーダー H主任 e部員 I主任 j部員 G係長 j部員
<b>4 グリーン購入の拡大</b>	・ 今年度用品類購入実績の把握 ・ グリーン購入品候補選定						
<b>5 環境改善活動</b>	・ 製品ごとの廃棄データを確認する。						
<b>6 地域貢献活動</b>	・ 地域活動(外周清掃)						

### 計画書の作成例

基準年度:2017年度		評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施															
NO.	中期目標 (2018年度)	年度目標 (2016年度)	施策	責任者	2017年度				2018年								
					12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
	生産量	千pk			月別												
					累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.1	二酸化炭素排出量の削減	1%削減(→99%) 80.59 kg-CO2/千pk	・ 電力、化石燃料使用量の削減 ・ 低公害車・低燃費車の継続活用	工場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□
		3%削減(→97%) 79.79 kg-CO2/千pk															
		83.92kg-CO2/千pk															
		2017年12月~2018年2月	不良率の低減	工場長	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□	□
		累計(kg-CO2/千pk)															

### アクションプランの例

〇〇工場 エコアクション21 アクションプラン		【上段:具体的な取り組み内容、下段:評価(○ or ×)】				
No.	テーマ	リーダー	サブリーダー	4月	5月	6月
11	揭示物作成、現場巡回	A課長	a係長	揭示物設置個所の確認と現場巡回 ○	揭示物の見やすい視点の確認と現場巡回 ○	揭示物の作成と現場巡回 ○
12	腕カバー消費量の確認、削減取組	B課長	b主任	腕カバーの在庫量・発注量の確認 ○	腕カバーの在庫量・発注量の確認 ○	腕カバーの個所ごと必要個数の設定 ○
13	蒸気漏れ、水漏れ確認巡回	C係長	c部員	配管箇所のリストアップ、地図作成 ○	配管蒸気水漏れ箇所の確認の現場巡回 ○	配管蒸気水漏れ箇所の確認の現場巡回 ○
14	省エネカーテンSNT、保守	D係長	d部員	カーテンの設置個所の確認、SNT実施確認 ○	カーテンの設置個所の確認、SNT実施確認 ○	省エネカーテンの交換 ○

## 6. 環境法規順守状況

### (1) 認証範囲

本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場・豊田第二工場、枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場  
 認証登録範囲の各工場で環境関連法規について順守状況の確認を行った結果、違反はありませんでした。過去3年間にわたって関係機関等からの指導指摘、地域住民の苦情、訴訟もありませんでした。

### (1) 認証範囲

本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場・豊田第二工場、枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場  
 認証登録範囲の各工場で環境関連法規について順守状況の確認を行った結果、違反はありませんでした。過去3年間にわたって関係機関等からの指導指摘、地域住民の苦情、訴訟もありませんでした。

### (2) 適用拡大範囲 相模原第二工場

適用拡大範囲である相模原第二工場で環境関連法規について順守状況の確認を行った結果、違反はありませんでした。また運用期間中、関係機関等からの指導指摘、地域住民の苦情、訴訟もありませんでした。

### (3) 主要な法規制一覧

○：順守    △：調査・対応中    -：該当せず

環境法規	工場名										
	相一	相二	龍ヶ崎	豊一	豊二	枚方	宝塚	新居浜	宗像	佐賀	宮崎
大気汚染防止法	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-
省エネ法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質汚濁防止法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道法	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-
浄化槽法	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○
騒音規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
振動規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃掃法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工場立地法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水銀法	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
環境関連 県条例(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境関連 市条例(※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## ※県および市条例について

各工場が所在する地域は下記のとおりです。それぞれの地域で定められた環境保全や公害防止、地球温暖化、廃棄物関連等の環境関連条例も適切に順守しております。

事業所	所在地(県)	所在地(市)
本社・相模原第一工場、相模原第二工場	神奈川県	相模原市
龍ヶ崎工場	茨城県	龍ヶ崎市
豊田第一工場、豊田第二工場	愛知県	豊田市
枚方工場	大阪府	枚方市
宝塚工場	兵庫県	宝塚市
新居浜工場	愛媛県	新居浜市
宗像工場	福岡県	福津市
佐賀工場	佐賀県	佐賀市
宮崎工場	宮崎県	宮崎市

## ■食品リサイクル法の取組

### (1)再生利用等の実施率

食品リサイクル法に基づく定期報告書を事業者単位でまとめて報告しております。基準実施率100%に対し、2017年度の再生利用等の実施率は全社で89.2%でした。個別目標である基準実施率は達成できませんでしたが、業種別の目標である食品製造業85%は達成しました。

2017年度 食品リサイクルの実績	
発生量 (t)	19,639.6
発生抑制量 (t)	413.4
再生利用量 (t)	11,971.4
熱回収量 (t)	0
減量量 (t)	5,508.4
再生利用等以外の量 (t)	0
廃棄物としての処分量 (t)	2,159.8
再生利用等の実施率 (%)	89.2

### (2)産業廃棄物処分業者の現地確認

当社は廃棄物管理を廃棄物の専門家にコンサルしていただいています。工場から排出された食品廃棄物が適切にリサイクルされているかを確認するため、コンサルタントとともに廃棄物処理委託業者の現地確認を行い、食品廃棄物等が適正に処理されていることを確認しました。

### (3)脱水機による野菜くずの減量

当社では工場から排出される野菜くずなどの植物性残渣を圧縮・脱水する施設を全国3カ所に設置し、植物性残渣の減容を行っております。関東・東海・関西にある工場の周辺に脱水施設を設置し、植物性残渣を脱水することで排出量を85～90%削減しております。野菜を多く使用する工場では1日に5t以上の植物性残渣が排出されるため、減容し排出量を減らすことで環境への影響を最小限にしております。また脱水処理した植物性残渣は堆肥化しております。この取り組みは環境に良い優秀な事例として神奈川県に選ばれ、神奈川県が主催する「廃棄物自主管理事業説明会」で、当社の発表する機会をいただいております。

## 7. 代表者による全体評価と見直し結果

2014年12月、エコアクション21の取り組みが相模原第一工場からスタートしました。1工場から始まったエコアクション21の取り組みは、2017年度に相模原第二工場が取り組みを開始したことで全11工場へ広がりました。

全11工場をみると、エコアクション21を始めて間もない工場、環境目標を達成できていない工場、環境目標を達成し二酸化炭素の排出量が下がった工場など、工場によって大きくばらつきがあります。工場への指導および内部監査の実施、従業員への環境教育の実施、良い活動事例の水平展開等を行い、当社の環境活動を推進してまいります。

## 8. 環境活動の取組事例

### ■ 認証取得範囲及び、適用拡大範囲における環境活動の事例

さがみはら環境まつりへの協賛

相模原の環境をよくする会への入会、  
河川生物相調査への参加



エコセンターでの脱水



太陽光発電の活用  
(相模原第二、龍ヶ崎、豊田第二、  
新居浜、宮崎)



清掃活動の実施



勉強会の実施

